

第5回白馬会議 2012

「西のダボス、東の白馬」……白馬会議は学会でも、財界セミナーでも、評論家やジャーナリストだけの集まりでもない。この会議の魅力は一人一人の知的な個人がそれぞれの生きざまやバックグラウンド、問題意識を持って国内外から集まり、白馬の大自然の中で心ゆくまで議論し合うところにある。と一過性の会議イベントでもない。『世界経済評論』誌（1953年創刊）の新年号に、毎年、詳細な討議記録が刻印されていく壮大な「知の渦」の創造プロセスでもある。

（第1回白馬会議（2008年）開会宣言より）

信州白馬に生まれる
「ダボス会議空間」へ
ようこそ！

統一テーマ 問いつめ直せ！日本の立ち位置—中国、財政再建、そしてエネルギー—

開催期間 2012年11月24日(土)～25日(日)

開催会場 長野県白馬村「シェラリゾート白馬」 <http://hakuba.sierra.ne.jp/welcome.html>
【東京駅からの所要時間】約2時間半：長野新幹線で長野入りし、オリンピックロードを走る白馬直行バスを利用。

主催 社団法人 世界経済研究協会

協賛 長野銀行・真露 **後援** 外務省・長野県・長野県経営者協会

【参加定員】100名（参加者が50名を超える場合、宿泊のみシェラリゾート白馬に隣接するホテルとなります。）

【参加費用】1名2万8千円（1泊4食の滞在費、会議運営費、資料代等を含む。）

【参加申込方法】「白馬会議参加希望」と明示、氏名・所属及び連絡先の住所、TEL&FAX番号を記し、メール：forum@sekaikeizai.or.jp または Fax：03-6423-0056までお送り下さい。折り返し、詳細プログラム・申込書及び参加費請求書をお送りします。

【申込締切】定員になり次第、締め切ります。

【問い合わせ】

〒107-0052

東京都港区赤坂5丁目2-41 赤坂サンクビル203

(社)世界経済研究協会

TEL：03-6423-0057 FAX：03-6423-0056

E-mail：forum@sekaikeizai.or.jp



シェラリゾート白馬



●(社)世界経済研究協会 (Association for World Economic Studies) ● 「産官学一体となって世界経済の中の日本の針路を考える」を活動理念に1963年創設。「産」では日本経済をリードする有力企業を法人会員として擁し、「官」では五省庁(外務・財務・経産・農水・内閣)の共管を受け、「学」では日本国際経済学会・国際ビジネス研究学会等、関係諸学会との交流を重ねている。1953年創刊の『世界経済評論』誌の発行(隔月)、年間240本のWEBコラム「世界経済評論IMPACT」、東京で年5回開催する「世界経済評論フォーラム」そして毎年秋開催の「白馬会議」によって形成される「知のトライアングル」をベースに意欲的な情報創造&発信を展開している。

会長 池間誠・一橋大学名誉教授 専務理事 市川周 URL：<http://www.sekaikeizai.or.jp>

問いつめ直せ！日本の立ち位置—中国、財政再建、そしてエネルギー—

「立場」とは「自己の置かれている立場」のことであり、一見客観的ではあるが受動的なニュアンスを持つ。これに対し、本来舞台用語である「立ち位置」は「自己の立つべき場所」を意味し、より主体的かつ能動的である。今年の白馬会議では、この「立ち位置」にこだわる。「立場」論でなんとなく納得し、世の中の流れに迎合するのではなく、自己の「立ち位置」を参加者同士で徹底的に問いつめ直す中で、この国の「立ち位置」をあぶり出してみたい。具体的なイシューとしては、巨大化を続ける〈中国〉。風下に甘んじるのか、それとも競争的共存を目指すのか。さらに〈財政再建〉。増税路線に耐えるだけか、それとも支出抑制、歳入拡大の荒療治に挑むのか。そして〈エネルギー〉。「脱原発」「縮原発」の言葉いじりはもういい。世界エネルギー変動の中で日本経済はどう生き残るのか。この3つを徹底討論。

【サブテーマセッション】

各テーマとも45分間の基調報告の後、コメンテーター及び会議参加者とのQ & Aを45分間展開します。

立ち位置・I 「中国—風下に甘んじるか、競争的共存を目指すか」

[基調報告者] 田代 秀敏 氏 (ビジネス・ブレイクスルー大学教授)

プロフィール●一橋大経済学部卒。同大学修士 (経済学)。みずほインバスターズ証券調査部エコノミスト、日興コーディアル証券国際調査部部长、大和総研主任研究員を経て現職。「中国は、共産党が、あたかも持ち株会社として人民解放軍と中華人民共和国という2つの100%子会社を持っているかのような体制である」と指摘。どうしようもなく巨大化していく中国の超大国パワーを直視する中で日本の対中競争・共存戦略の可能性を説く。

立ち位置・II 「財政再建—消費税25%に耐えられるか」

[基調報告者] 小黒 一正 氏 (一橋大学経済研究所准教授)

プロフィール●京都大理学部卒、一橋大学博士 (経済学)。大蔵省 (現財務省) 入省後、財務省財務総合政策研究所主任研究官、世界平和研究所主任研究員などを経て現職。経済成長のみでの財政再建は不可能。「反増税」を支持しながら社会保障費の削減を主張しない政治は無責任。現行の社会保障・税一体改革も一時の止血剤に過ぎない。消費税25%時代到来を覚悟した財政再建戦略を説く。

立ち位置・III 「エネルギー—抽象論、精神論を超えられるか」

[基調報告者] 澤 昭裕 氏 (経団連・21世紀政策研究所)

プロフィール●一橋大経済学部卒。通商産業省 (現経済産業省) 入省。米プリンストン大行政学修士。環境政策課長、資源エネルギー庁資源燃料部政策課長等を経て現職。客観的な検証のないまま、お互い都合のよい情報を取り上げずれ違い続けるエネルギー論議や、個々人の価値観が先に立ち現実的な議論がなされない原発論争を批判。先入観や抽象論、精神論を排したエネルギー政策論を説く。

【ゲストスピーチ】 「新しい大都市制度と日本の改革に向けて」

[スピーカー] 水谷 翔太 氏 (大阪市天王寺区長・公募就任)

プロフィール●早稲田大政経学部卒。2009年NHK入社。山口放送局勤務。2012年8月大阪市橋下徹市長の区長公募により、最年少区長として天王寺区を任される。

【クロステーマセッション】

各セッションの基調報告者及びゲストスピーカーを中心に、2日間の会議で提出された様々な視点に基づき、2012年統一テーマに関する総括パネル討議を行います。

※第5回白馬会議の討議報告は『世界経済評論』2013年1/2月号「白馬会議特集」に掲載されます。

タイムテーブル

11月24日(土)	12:30~13:45	オープニングランチ&オリエンテーション
	14:00~15:30	<サブテーマIセッション> 「中国—風下に甘んじるか、競争的共存を目指すか」
	15:45~17:15	<サブテーマIIセッション> 「財政再建—消費税25%に耐えられるか」
	17:30~18:00	カクテルレセプション
	18:00~20:15	テーブルディナー & ディナースピーチ
	20:30~22:00	<ナイトセッション> ※参加者相互のフリートーキングタイム
11月25日(日)	07:00~	朝食
	08:30~09:15	モーニングスピーチ
	09:20~10:50	<サブテーマIIIセッション> 「エネルギー—抽象論、精神論を超えられるか」
	11:00~12:30	<クロステーマセッション> 統一テーマに関する討議総括
	12:45~13:30	クロージングランチ&閉会